

※令和4年度以降入学生用

令和4年度 書道 I

教科	芸術科	科目	書道 I	単位数	2 単位	年次	1 年次
使用教科書	「書道 I」 (教育出版)						
副教材等	なし						

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

<ul style="list-style-type: none"> ・小・中学校で身に付けた書写能力を基礎にしながら、毛筆による技法を身に付け、線質と墨・紙・筆との関係を理解しましょう。 ・古典作品の臨書を通して、毛筆の技法を身に付けましょう。 ・練度を高めることで、集中力を養いましょう。 ・添削を繰り返すことで、美意識を養いましょう。
--

2 学習の到達目標

<p>a 書道の幅広い活動を通して、書表現の多様性を理解させ、基礎的な技法を身に付けさせる。</p> <p>b 感性を高め、表現と鑑賞の基礎的な能力を伸ばす。鑑賞を通して、表現を深めることができるようにする。</p> <p>c 書の伝統と文化についての理解を深める。生涯にわたり書を愛好する心情を育てる。自由作品の取り組みにおいて、主体的・能動的な表現ができるようにする。</p>
--

3 評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観 点 の 趣 旨	<ul style="list-style-type: none"> ・書の表現の方法や形式、書表現の多様性について幅広く理解している。 ・書写能力を発展させ、書の伝統に基づき、書表現の基礎的な技能を身に付け、表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・古典作品を鑑賞することで、線の美しさを感じ、表現の工夫に関連させている。 ・書の伝統と文化を理解し、美意識を高めている。 ・作品の鑑賞を通して、学習内容を再確認し、定着させている。 ・学習の成果を、自己の書表現に生かすことができている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的に書の表現及び鑑賞の学習に取り組んでいる。 ・講義内容を聞いて書くという、ノートの作成に日々取り組んでいる。 ・理解し、身に付いた技能を、主体的に表現し、鑑賞作品として高めようとしている。
<p>上に示す観点に基づいて、学習のまとめりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。</p>			

※令和4年度以降入学生用

4 学習の活動

学期		学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
I 学期	楷書の学習	「牛けつ造像記」の臨書	a:見たまま、感じたままを口頭で表現できている。 a:毛筆を使って、見たまま、感じたままを表現できている。 b:特徴的な線質(角張った始筆、直線的な線質)を習得している。 c:自由作品として、主体的に表現できている。	ノート、添削作品	ノート、添削作品	ノート 添削・合格作品、自作の学習内容のまとめ
II 学期	楷書の学習	「顔氏家廟碑」の臨書	a:見たまま、感じたままを口頭で表現できている。 a:毛筆を使って、見たまま、感じたままを表現できている。 b:特徴的な線質(藏鋒の始筆、曲線的な線質)を習得している。 c:自由作品として、主体的に表現できている。	ノート、添削作品	ノート、添削作品	ノート 添削・合格作品、自作の学習内容のまとめ
	行書の学習	「蘭亭序」の臨書	a:見たまま、感じたままを口頭で表現できている。 a:毛筆を使って、見たまま、感じたままを表現できている。 b:特徴的な線質を習得している。 c:自由作品として、主体的に表現できている。	ノート、添削作品	ノート、添削作品	ノート 添削・合格作品、自作の学習内容のまとめ
III 学期	隸書の学習	「曹全碑」の臨書	a:見たまま、感じたままを口頭で表現できている。 a:毛筆を使って、見たまま、感じたままを表現できている。 b:特徴的な線質(逆入・逆筆)を習得している。 c:自由作品として、主体的に表現できている。	ノート、添削作品	ノート、添削作品	ノート 添削・合格作品、自作の学習内容のまとめ
	仮名の学習	・基本線の練習 ・仮名文字一単体の練習	a:仮名筆に慣れ、仮名の線質を習得している。 b:漢字の書とは全く違うことを理解している。 c:仮名文字を、仮名の線質で、主体的に表現できている。	ノート、添削作品	ノート、添削作品	ノート 添削・合格作品、

※ 表中の観点について a:知識・技能 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度